

王子動物園をもっと楽しむためのフリーマガジン

Habataki

2021 / AUTUMN

特集

知ってる?
オオアリクイのこと

動物図鑑
チベットヒグマ

知ってる?

オオアリクイのこと

2020年5月にそろって来園した「ブンバ」と「サニー」。

園内外で人気者だった「グアポ」が亡くなって以来、空き家だったオオアリクイ舎を再びにぎやかにしてくれています。そんな二世誕生も期待される新たな住人たちの性格から王子での暮らしぶり、最新情報までをご紹介します！その不思議で魅力的な生態にも迫ってみましょう。



ブンバ

2019年2月26日、静岡市立日本平動物園生まれ。人工哺育で成長しました。名前は“太鼓の音”などの意味を持っており、その響き通り好奇心旺盛な性格で、やんちゃな一面ものぞかせます。

食べる仕事が仕事

アリクイたちは活動時間の大部分を採食に費やすと言われてます。野生下では嗅覚を頼りにエサを探し求め、1時間に約30~40のアリ塚を巡り、1日に10kmもの距離を移動します。食性は動物食で、アリを主食に、昆虫の幼虫などを食べることも。飼育下では毎日必要量のアリの給餌は不可能なため、当園ではミンチ、卵、ヨーグルトなどを混ぜた独自の代用食を与えています。



長い舌

最長60cmにもなる長い舌には細かなトゲがあり、粘着性の唾液を使って1分間に最大160回出し入れしながら1日に約350,000匹のアリをなめ取って食べます。このスムーズな舌の動きの秘密は口腔内の構造にあり、左右に分かれた下顎の骨を、舌を出す時には狭く閉め、引っ込めた時には広く開けることで行っています。



舌を引っ張りながら

ふしぎな柄

体型もさることながら模様も独特。一説には「フサフサな尾は頭のように見せることで実の頭部を守っている」や「白、灰、黒色の柄は迷彩服に似た効果で外敵に見つかりにくくする役割がある」という考えもあるそう。また、寝るときにもフサフサの尾で頭と体を覆って体温を保つほか、周囲に溶け込むカムフラージュにもなります。

たくましい前肢

フワフワの白い毛の下には非常にたくましい前肢が隠れています。指は5本で、うち4本に湾曲した爪があり、特に第2・3指が大きいです。この強い爪で固い土壌も簡単に掘り起こします。歯のない彼らにとってはアリ塚を壊すなど生きるための道具であり、外敵に襲われた時は相手を威嚇する武器でもあります。そんな鋭利な爪があるため、手の甲を地面につけて歩きます。ゴリラなどが指を曲げて関節をつけて歩くのとは異なります。



この爪はアリ塚を壊すのに使われます。



サニー♀

2019年6月27日、名古屋市東山動植物園生まれ。標準より小さめに誕生も今やブンバより一回り大きな体に育ち、華やかな雰囲気。おてんばで人の手をなめるなど人懐こい反面、繊細さも。

ブンバとサニーの観察日記

2020年5月25日、それぞれの生まれ故郷から来園した2頭。当日から適応力の高さを見せたブンバに対し、サニーは少々デリケートさもぞかせましたが、翌日には用意したエサを食べスタッフを安心させました。現在ではどちらも人の気配がすると近づいて来るなど、すっかり馴染み、特にサニーは呼びかけに反応するような仕草も。



人間の40倍の能力とも言われる鋭い嗅覚で人を認識しており、世話をしている飼育員かそうでないかが分かっているようです。

食べ物の嗜好性も徐々に変化し、酸っぱいものを好

み、オレンジを喜んでなめます。また水が大好きで、寝室で水をかけると気持ち良さそうに仰向けになったり体をくねらせたり、キュートな表情を見せてくれます。



そして今夏からは繁殖に向け、休園日の数十分間、同居の練習を開始。アリクイ属は交尾以外は単独で生活する、社会性を持たない動物です。慣れない個体同士が接触すると威嚇行動に出る場合もあり、互いの存在に慣れることが必要なためです。最初は牽制しあっていた2頭ですが、近頃はサニーが気にしない様子を見せるなど、今後の繁殖に期待できそうです。



生息地
中国奥地の青海省・
四川省、チベットの
高原や山地

チベットヒグマ



チベットヒグマ

英名：Tibetan Brown Bear 学名：*Ursus arctos pruinosus*

界：動物界 Animalia 目：食肉目 Carnivora
門：脊索動物門 Chordata 科：クマ科 Ursidae
綱：哺乳綱 Mammalia 属：クマ属 Ursus

基本DATA (ヒグマ)

体長：約170～280cm

体重：約150～250kg

食性：雑食

繁殖形態：胎生

中国奥地、青海省、チベット高原などの山岳地帯に生息。食性はヒグマ同様、大小哺乳類、魚類、果実など雑食性と考えられています。ヒグマの仲間の中では最も研究が進んでいない種類です。



ZOOM IN がっしり

小型ながら体つきはがっしりで、筋肉のついた肩回りは腰よりも盛り上がって見えます。

【うまぐま】

跳びはねる様子からついた別名

ヒグマの地域亜種で、生息地からその名が付いたチベットヒグマ。跳びはねる様子が馬に似ていることから別名「ウマグマ(馬熊)」と呼ばれています。目撃数や飼育例が少なく謎の多い彼らですが、王子では1994年に中国天津動物園から寄贈されたペア2頭を国内初展示、跳ねるような独特の仕草を時折見ることができます。他のヒグマに比べてあまり水を好まず、また、食性も肉や魚より野菜や果物を好む傾向を見せています。

【ちいさいからだ】

仲間では小型の体も愛嬌いっぱい



チベットヒグマは、エゾヒグマ、グリズリーなど約15の亜種が存在するヒグマの中では小型です。そんな体に比較して頭が大きく、丸い顔立ちも特徴的で愛嬌のある雰囲気を出しています。体毛は黒色や茶褐色で、海拔4,000～5,000mにすむことから他の亜種よりも毛が長いのも特色です。

動物を語る

なぜネコ科動物だけがマタタビに反応するのか？ 化学物質から探る、 マタタビ反応の意義と種の特異性

ネコがマタタビを見つけると、葉をなめたりかんだり、葉に顔や頭をこすり付けたり、葉の上で体をくねらせ転がる、といった行動が特徴的なマタタビ反応を示します。「ネコがなぜマタタビに反応するのか?」、この素朴な疑問に挑んだ研究者が、1950年代にはたくさんいました。大阪府立大学の目武雄博士もその一人で、マタタビから特徴的な化学構造を有する複数の物質を発見し「マタタビラクトン」と命名しました。この発見でいよいよネコがマタタビに反応する理由が解明できると当時の研究者たちは沸き立ったと思います。しかし残念ながら活性物質の発見以降、当時の研究に大きな進展はなく、マタタビ研究は停滞していきました。そして月日が流れ、岩手大学でネコの嗅覚研究を行っていた私たちは、名古屋大学の西川俊夫教授に誘われて、この不思議な現象の謎の解明に挑むことにしました。

私たちは、最新の分析技術も導入して、マタタビ活性物質の再探索から研



岩手大学農学部教授
宮崎雅雄

神奈川県出身、岩手大学農学部獣医学科卒業、博士(農学)、犬5匹を飼う動物好き。

岩手大学総合科学研究科
上野山怜子

岩手県出身、岩手大学農学部応用生物化学科卒業。ネコやトラ好き。

究をスタートしました。その結果、過去に見逃されていた「ネベタラクトール」という物質(写真1)にマタタビ反応誘起活性があることを突き止めました。また、ネベタラクトールのマタタビ葉中含量は、既知のマタタピラクトンの10倍あり、等量あたりの活性もネベタラクトールが一番強いことが分かりました。そこで「ネベタラクトールだけで、大型ネコ科動物にもマタタビ反応を誘発できるか?」、この疑問を検証させてもらえる動物園を探すことにしました。いろいろな動物園にお願いしたところ、最終的に大阪の天王寺動物園と神戸の王子動物園が協力を名乗り出てくれました。ネコの数十倍の体重があるヒョウやジャガーが本当にネベタラクトールに反応してくれるか、期待と不安、両方の気持ちで実験準備していた私たち、動物園のスタッフの方々がいろいろ助言をくださり、実験がスタートしました。反応の様子は、動画で配信されているので、ご覧になられた読者の方もいらっしゃるかと思いますが、大型ネコ科動物がたった2mgのネベタラクトールに反応して、地面をゴロゴロ転がる姿は圧巻でした(写真2)。

その後の研究で、ネベタラクトールには、蚊を忌避する活性もあり、マタタビ葉に対する擦り付け行動で、被毛にネベタラクトールが付着したネコは、蚊に刺されにくくなることも分かりました(写真3)。ネコが大型ネコ科動物と種が分化したのは、約1000万年前と言われています。つまりマタタビ反応は、ネコと大型ネコ科動物が分かれる以前の共通祖先が既に獲得していた行動と推測されます。今回、研究に協力してくださった動物園のおかげで、マ

タタビ反応の進化的な考察も可能になりました。私たちは研究者なので、ヒョウがマタタビに反応する姿を見て喜ぶだけではなく、得られた知見から新たな仮説を提唱し、研究を発展させていく務めがあります。ヒトを含めた多くの動物が蚊による伝染病に困っているのに、なぜネコ科動物だけがマタタビ反応を獲得して蚊を防御できるようになったのか、疑問は深まります。身近な動物が進化の過程で獲得した生存戦略を理解することは、特に今の私たちに必要なことかもしれません。引き続きマタタビ研究を発展させ、コロナ禍で疲弊した人々にホッとできるニュースを提供しながら、科学文化の発展に貢献していきたいと思います。



1. マタタビの葉とネベタラクトールの構造式
2. マタタビ反応を示すアムールヒョウ「アヌイ」
3. イエネコのマタタビ反応は蚊の忌避効果がある

出産ラッシュの鳥類 元気な姿で成長中

今年の前半もうれしいニュースがたくさん。3月にルリコンゴウインコが1羽孵化。3～4月にかけては2年ぶりにフンボルトペンギンが孵化し、5羽がすくすくと成長中。5～7月の風物詩であるフラミンゴの赤ちゃんは、7羽が孵化しました。



ルリコンゴウインコ



フンボルトペンギン



フラミンゴ

換気設備を改修した 太陽の動物舎が再開

温室でヨウスコウワニなどの虫類を観察でき、夜行性動物が動き回る姿を間近で見られる太陽の動物舎。感染防止対策のため、2020年3月頭から閉鎖していましたが、換気設備の改修を施し、今年の3月23日から再開しました。



ヨウスコウワニ



OJI ZOO NEWS

感染拡大防止のため 再び臨時閉園

新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言を受けて4月25日～6月20日まで閉園しました。春の風物詩・夜桜通り抜けは2年連続で中止となりましたが、名物の桜は臨時閉園までに十分お楽しみいただくことができました。



当園歴代3位の長寿 チンパンジー、逝く

今春から体調を崩していたチンパンジーの「ユキ」が、5月4日逝去。推定54歳で、死因は腫瘍でした。1975年に来園し、穏やかな気質で愛される存在に。今は亡き「ジョニー」を含むオス2頭との間に「銀太」「ポピア」の2子をもうけました。



ユキ



献花台の様子

タンタンを語る会



オンライン・イベントの様子はYouTubeにて公開中。
<https://www.youtube.com/watch?v=LkHFQ73xH9s>

オンライン・イベント『タンタンを語る会』

ジャイアントパンダ「タンタン」ファンが1,600人以上集ったオンライン企画を、6月10日に開催。中華人民共和国駐大阪総領事館・中華人民共和国ジャイアントパンダ保護研究センター・当園が協力し、タンタンへの愛を語りました。

当園8年ぶりとなるジャガーの双子誕生

8月18日、当園では2013年以來となるジャガーの赤ちゃんが2頭誕生。黒変種の「アトス」と黄色に斑紋のある「ネリア」の間に生まれた雌雄の双子は、父親譲りの黒い毛並みに。ネリアは初のお産ながら、愛情深く子育てしています。

2021 AUTUMN

ピーター



ウミ



新たな繁殖を目指し2頭のコアラが移動

コアラのオス「ピーター」とメス「ウミ」が、9月15日に淡路ファームパーク イングランドの丘動物園へ移動しました。オーストラリアでは絶滅危惧種であるコアラ。日本でも繁殖推進のため、移動による新たなペア形成を目指します。

王子公園の再整備が始まります

王子動物園のある王子公園を、地域ブランドの向上に資するよう、再整備することになりました。動物園をリニューアルし、王子スタジアムなどのスポーツ施設を再編して、大学を誘致する計画です。今後順次計画が進んでいく予定です。

開園時間

3月～10月 午前9:00～午後5:00
11月～2月 午前9:00～午後4:30

※ただし、入園時間は閉園の30分前まで。

休園日

毎週水曜日（祝日と重なる場合は開園）
年末12月29日～1月1日

※春休み、夏休み期間中は臨時開園する場合があります。

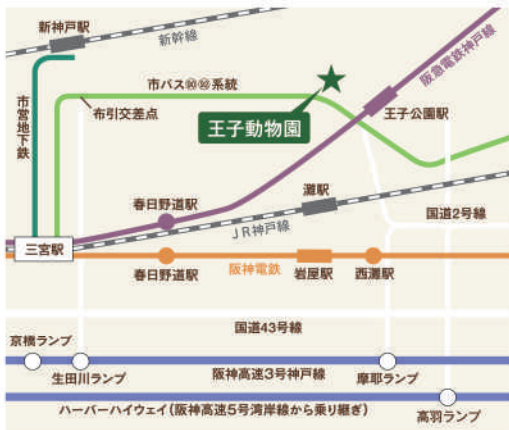
料金案内

	個人	団体		
		30～99人	100～299人	300人以上
大人（高校生以上）	600円	540円	480円	420円
中学生・小学生・幼児 兵庫県在住の65歳以上の方 障害者の方	無料			
	※兵庫県内にお住まいの65歳以上の方は、敬老手帳・運転免許証等の住所・氏名・生年月日がわかるものをお持ちください。 また、障害者の方は障害者手帳等をお持ちください。			

年間パスポート		
金額	有効期間	発行場所
3,000円	年間パスポート 作成日より1年間	王子動物園 入園ゲート受付

※ご希望の方は、入園ゲートで年間パスポート申込書に必要事項を記載し、現金を添えてお申し込みください。※王子動物園に入園の際は、必ず係員に提示してください。※申込者（年間パスポートに記載のある氏名の方）以外は使用できません。違反が判明した場合は年間パスポートを返還していただきます。※本券の再発行はいたしません。※写真欄はご本人の顔写真を貼り付けてください。

アクセス



□ 電車

- 阪急「王子公園」駅より西へ徒歩3分
- JR「灘」駅より北へ徒歩5分
- 阪神「岩屋」駅より北へ徒歩10分
- 神戸市バス90・92系統「王子動物園前」バス停下車すぐ
- 新幹線「新神戸」駅よりタクシー10分、または「布引」バス停より市バス90・92系統

□ 車

- 阪神高速3号神戸線 摩耶ランプを降りて、北へ「西灘」交差点を左折10分
- 生田川ランプを降りて、北へ「布引」交差点を右折15分
- 阪神高速5号湾岸線 住吉浜ランプを降りて、「高羽」交差点右折、「弓木4」交差点を左折15分

□ 駐車場

王子公園駐車場 料金（30分ごとの時間制）			
乗用車	～2時間	2～4時間	4時間～
		150円	100円
バス	500円		
	※ただし、3,000円を上限とします。 ※土曜・日曜・祝日はバスの駐車できません。		

三宮・花隈駐車場の利用割引

市営三宮駐車場・市営花隈駐車場を利用し、公共交通機関でご来園された場合、駐車料金を3時間まで割引します。駐車券を動物園まで持参し、管理事務所で提示してください。
※「市営三宮中央通り駐車場」の利用割引はできません。

「動物サポーター」大募集!!

王子動物園では、平成17年より「動物サポーター」を募集しています。

この制度は、動物園を支援していただける企業・

団体などや個人の方からご寄付いただき、

動物たちのエサ代や動物舎の整備などの運営費用に充てるというものです。

動物園をより身近に感じていただき、みなさまに支えられながら、

動物園の活性化を進めていくことを目的としています。

□ 法人サポーター

対象は企業・団体などで、年単位でご寄付をお願いしています。寄付金額は対象動物ごとに異なり、動物舎の前などに、企業・団体の名称を記載したプレートを設置します。
なお、プレートに宣伝広告等は記載できません。詳しくは動物園にお問い合わせください。

□ 個人サポーター

対象は個人の方で、年単位のご寄付を募っております。なお、寄付金額は右の表のとおりです。寄付はふるさと納税の対象となるため、税金の控除が受けられます。ご寄付をいただいた方については、お名前を園内の支援者一覧に掲示（※1）し、年間パスポートや機関誌などを進呈します（※2）。

※1希望される方のみ ※2ふるさと納税の制度上、神戸市内在住の方に年間パスポートは進呈できません

年間サポート料金	
大人	10,000円/一口
中学生以下	1,000円/一口

〒657-0838 神戸市灘区王子町3-1 TEL 078-861-5624 HP <http://www.kobe-ojizoo.jp>

入園時の注意 ※動物にいたずらをしたり、食べ物を与えないでください。 ※イヌやネコなど、ペットを連れての入園はできません。 ※ボールなどの遊具の持込はできません。
※園内での飲酒は禁止されています。 ※園内は全面禁煙です。

2021年10月発行 Habataki 2021 AUTUMN